

ジョギングパトロール開始(10月1日)



昨年の9月定例会議で重野議員が提案した「ジョギングパトロール」が実現しました。ジョギングしながら、ペットの散歩をしながら、という「ながらパトロール」です。

「黄色いビブス」を着て行います。市民の防犯意識が高まり、犯罪を抑止する一翼を担える活動になればいいと思います。この活動が広まっていくことを期待しています。協力いただける方は、市役所の「市民活動支援課」で登録し、黄色いビブスを受け取って活動を始めてください。

***先送りしないで** 10月16日から18日まで県外視察に行きました。神奈川県秦野市で「公共施設再配置」をテーマにしてこれからの公共施設の在り方について学びました。柏崎市では公共施設の総延床面積を今後40年間で20%削減していくことを目指しています。しかし、秦野市での話を聞くと、それでも不十分で35~50%以上の削減が必要ではないかと考えさせられました。人口減やそれに伴う将来の歳入の状況などを数値として見ると、「自分たちの便利さや豊かさだけを求めて結論を先送りすることは次世代に大きな負担を押し付けることになる」という言葉が身に染みてきます。

***予算要望提出** 10月23日に会派から市長に、来年度の予算要望を提出しました。日頃より市民の皆様から生の声をお聞かせいただいております。それを基に会派でまとめ、市内全体のバランスを考えて要望書を作成しました。市民にとって「暮らしやすいまちづくり」のため、頑張っていきます。

すてきな生き方

▼コミセンと町内の敬老会に参加しました。よく子どもたちから元気をもらった、と聞きましたが、敬老会に参加したところ、高齢者の皆様



から元気をいただきました。参加された皆様は元気で活動的で、何よりもその笑顔が素敵でした。私もこんな年齢の重ね方ができたらいいと思いました。いつまでもお元気でお過ごしいただきたいと思います。▼現在日本は「超高齢社会」と言われています。地域によって課題も様々だと思いますが、そんな中、地域に貢献しようと活動している団体を一つ紹介させていただきます。柏崎駅と南口をつなぐ地下道の清掃活動を行っている団体があります。城東地区の老人クラブ「明生会」の皆様のボランティア活動です。誰かに言われたり、どこから請け負ったりしているのではなく、自主的に純粋なボランティア活動です。みんなが気持ちよく暮らしていくために必要なことを当たり前のように行える人達はとても素晴らしい方々だと思います。こういう社会を大切にしていきたいと思います。ありがとうございます。<重野正毅>

12月定例会議の予定

12月5日(火)~12月20日(水)

12月8日(金)・11日(月)が一般質問



「重野まさき後援会」への入会を募集しています。ホームページからも入会できます。

★ホームページをリニューアルし、
アドレスが変わりました。
ホームページ

<https://www.masakishigeno.com>

E
メール

info@m-shigeno.net

後援会事務所 ☎0257-24-1671 ★重野正毅はフェイスブックもしています★

人を、まちを、未来を、つなげる

重野まさき通信

第11号 平成29年11月2日発行

発行:重野まさき後援会
事務所:〒945-0072 柏崎市北園町19-47
連絡先:☎0257-24-1671
発行責任者:入澤 稔 (後援会内部討議資料)



9月定例会議終了 平成28年度決算を認定しました

定例会議は主に補正予算の審議でした。それに引き続き行われた平成28年度決算も賛成多数で認定することに決定しました。重野議員は決算の認定において「賛成討論」をしました。

一般質問では「教育」を質しています

最近、特に学校教育に関する事件が多発しています。子どもたちの自死、教員による体罰を含めた行き過ぎた指導、不適切な行為、生徒による教師への暴行など、数えていたらきりがないくらいです。その原因はその事件の当事者だけの問題なのか、学校教育に関する環境や教員の働き方に根があるのか、制度そのものに歪が生じてきているのかは、はっきりとはしません。しかし、それらの問題から目をそらさず、目の前の子どもたちの健全育成や将来の自立に向け、家庭・学校・地域が一丸となって取り組んでいかなければならぬことは確かです。議員としても教育活動が効果的に行えるように適切に関わっていきます。

重野議員は議員になり、30年間の教員経験をもとに、これまで一貫して「教育」の重要性、それに付随した教員の働き方、スポーツや文化を含めた教育環境の整備を訴えてきました。これからも教育の実践者としての視点で柏崎の教育を語っていきます。

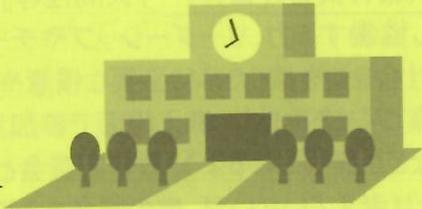


今回の重野議員の一般質問

1 子どもへの命の教育



(質問要旨) 今年度になってから新潟県でも中学生等の自殺の事案が複数件発生した。子どもたちへの自殺予防教育の推進をお願いしたい。また、柏崎市としては、学校を通さない窓口や24時間電話相談の窓口、あるいはSNSを利用した相談窓口を開設することは考えているのか。これらは若者の将来や命の重要度を考えれば、やらなければならない環境整備の一つだと考える。いじめだけではなく、虐待についての子ども本人からの相談にも適切に対応できるのではないか。



(教育長答弁抜粋) 子どもたちの自死は市内どこの学校でも起こり得ることと認識しており、自殺予防にさらに努めていく。自殺防止としては、子どもに対し自殺の危険とその対応について正しい知識を教え、適切な行動がとれるように教育していく。そのため教職員の研修を充実させる。また、不登校やいじめの相談窓口は柏崎市教育センターで午前9時から午後5時まで開設している。24時間体制での相談は県の窓口があるので今のところ市としては開設を考えていない。しかし、SNSメール相談については市センターを中心に検討を始めていく。

2 教職員の時間外労働

(質問要旨) 全国的には教職員の時間外労働での自死の事例や精神疾患での休職の事例が減少していない実態がある。一人一人の教職員に対して、それぞれの仕事を適切に効率よくこなしていくための指導をする管理職であってほしいし、特に若い教職員に対しては、明確な理想のモデル像を示していくように、教育委員会として指導・支援をお願いしたい。教育委員会として把握できている柏崎市の教職員の残業の実態や様子と、教職員一人一人の様々なマネジメント力の向上に向けて今後どのような指導を行っていくのか聞かせてほしい。

(教育長答弁抜粋) 超過勤務が月60時間を超える職員が小学校では6月が48%、7月が20%、中学校では6月が59%、7月が54%で、県平均並みだった。校長会や学校訪問時を通して多忙化解消の指導を繰り返している。やみくもに業務を削減するのではなく、組織として合理的なカリキュラムマネジメントを行うよう取り組みを進めている。

3 新学習指導要領の実施に向けて

(質問要旨) 小学校は平成32年度、中学校は平成33年度から新学習指導要領が完全実施される。学習指導要領の改訂をどのようにとらえ、特に学校の「授業」がどのように変わっていくことを期待しているか。また、学習指導要領の改訂時期に合わせ、福岡市内の小学校で20%以上の小学校が取り入れている、午前中に5時間の授業を行う、という日程を組むことは検討できないものか聞かせてほしい。

(教育長答弁抜粋) 「人間性等」については、多様性を尊重できる態度、互いのよさを生かし協働する力、リーダーシップやチームワーク、感性、優しさや思いやりなどを含めたもので、社会を生き抜くために必要な情意や態度と捉えている。授業改善は今までと同様に、分かる授業づくりを推進し、導入場面で参加意欲が高まるよう工夫された授業、その意欲がつながり深まり展開される授業などが実現されるよう、教育委員会として指導していく。小学校の午前5時間の授業は、市内で一律に導入することは考えていないが、市の特色ある取り組みになるようなことを研究していきたい。

7月3日からの大雨による被害、議会による災害対策支援本部が設置

7月3日未明からの大雨により、柏崎市に「災害対策本部」が設置されました。それを受け、柏崎市議会も「災害対策支援本部」を設置し、被害状況の把握と共有、災害対策本部との連携を進めてきました。道路をふさぐような土砂崩れ、土砂崩れによる家屋の被害、床上床下浸水、道路の冠水、田畠への浸水による農作物への被害、海岸への流木等の漂着などいたるところで大きな被害が出ました。定例会議の中で、被害を受けたところの復旧などの予算は認められました。予算はおよそ2億円です（そのうちの3分の2は国や県からの補助です）。



小学生お仕事体験塾(8月20日)

今年も昨年に引き続き、「小学生お仕事体験塾」に市議会が出店しました。参加した小学生もかなり興味関心をもっていて、それなりに議会の内容を知つてもらえたと思います。模擬議会として、限られた予算の中でどんな施設をつくったら子どもたちだけでなく、市民のみんなに喜ばれるのかを議論し、投票で決めました。本物の投票箱を使った投票を体験しました。参加者の中から将来の議員、政治家が出るかもしれません。



新潟産業大学の公立大学法人化の方向性の発表は遅くとも今年度中



9月22日に議員全員協議会で新潟産業大学公立法人化に関する調査結果について説明がありました。簡潔に記すと、「大学側で作成し実行過程にある大学改革プラン、事業計画は他大学と比較して魅力構築、競争優位性の確立の点から不十分」、今後は「構想レベルではない実効性の見込まれるプランの策

定が必要」である、とのことです。そのプランの提出を受けて市として検討を行い、早ければ今年中、遅くとも今年度中には市としての方向性を判断する、としました。現段階では新潟産業大学側からのリアクションを待っている状況です。大学の方向性とあわせて、附属高校の在り方についても検討していく必要があります。いずれにしても10月末の現在では、いまだ白紙の状態です。

全市一斉防災訓練(9月24日) 日頃からの備えが大事です



8月29日の朝6時過ぎと9月15日の朝7時過ぎに、北朝鮮がミサイルを発射したことによる「Jアラート」が鳴り、地震などの災害だけではなく、ミサイルやテロに対する避難訓練も必要なことが身に沁みました。これからは地域や学校での避難訓練にも災害以外のケースを想定したものを加える必要があると思います。全市一斉防災訓練は初めての取り組みでしたが、「ドクターヘリ」や「防災ヘリ」と一緒に訓練が行われました。

「重野まさき議員を囲む会(後援会総会)」を開催します

- 日 時 平成29年12月3日(日) 午後2時～午後4時30分
- 会 場 市民プラザ(風の部屋)
- その他 会費 2,000円

大勢の皆様からの参加をお待ちしております。
ご連絡ください。

参加を希望される方は、重野まさき後援会事務局
(TEL:24-1671または、重野携帯:090-4717-9638)までご連絡ください。

